

中小企業の業況は、サービス業を中心に依然厳しい状況にある。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど平成25年1～3月期の実績と平成25年4～6月期見通しについての調査結果（回答率86%）をまとめた。本調査は3ヶ月毎に年4回行う。

業況DI値について、前年同月の今期（平成25年1～3月）の状況を集計したところ、業況判断DIはマイナスで推移しており、前期と比較して悪化の動きが見られた。

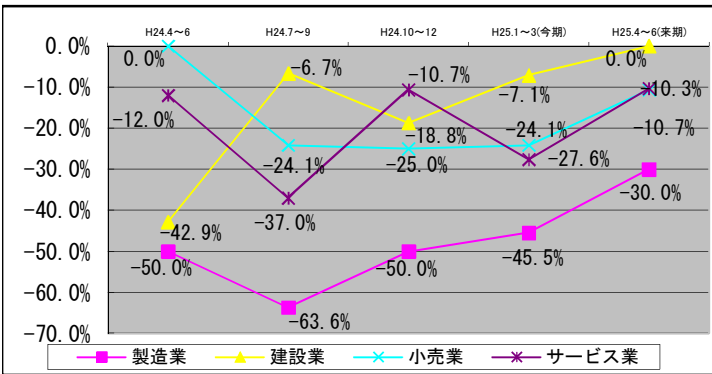
全業種のDI値に見る業況判断は、製造業：▲50%→▲45%、建設業：▲19%→▲7%、小売業：▲25%→▲24%、サービス業：▲11%→▲28%となった。前回調査でDI値が大幅に改善されていたサービス業の悪化が目立っている。建設業では来期の予測も含め、改善傾向が見られる。

新規設備投資について、今期中に設備投資を実施した企業は全体の12.0%であった。来期は前回調査と同じくOA機器の投資計画が見られる。また、今期の経営問題では、依然として需要の停滞が上位に挙がるとともに、小売業とサービス業においては競合店の増加を危惧する声も聞かれた。

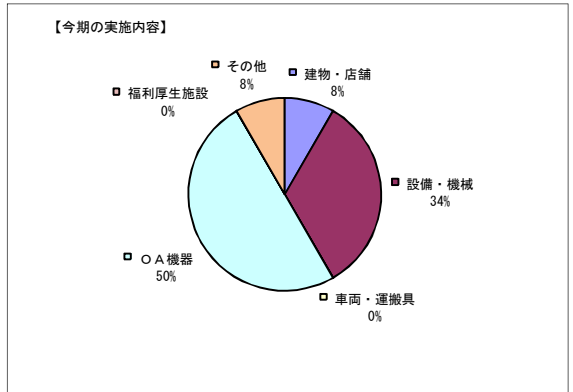
◆業況DI値（今期の状況）

	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	-26%	↘	-27%	↗	-24%	↘	14%	↗	-33%	↘	0%	↗
製造業	-45%	↗	-45%	↗	-50%	↘	-9%	↘	-64%	↘	-10%	→
建設業	-7%	↗	7%	↗	-7%	↗	29%	↗	-14%	↗	7%	↗
小売業	-24%	↗	-30%	↘	-34%	↘	10%	↗	-34%	↘	-4%	→
サービス業	-28%	↘	-28%	↘	-10%	↘	18%	↗	-28%	↘	7%	↗

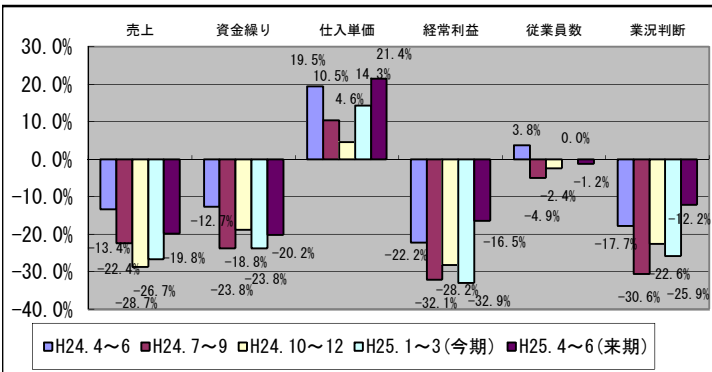
◆産業別業況判断DI（前3期からの推移と来期見通し）



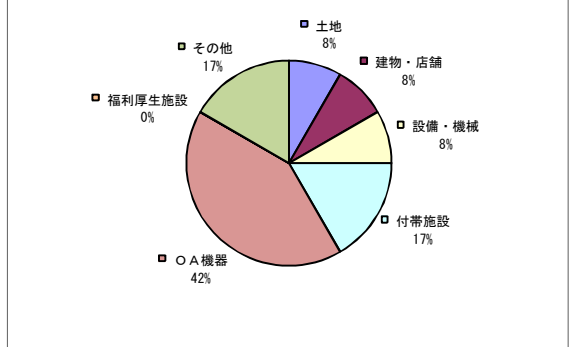
◆新規設備投資（今期実施・来期計画）



◆全産業DI項目別比較（前3期からの推移と来期見通し）



【来期の実施計画】



◆経営上の問題点

	製造業		建設業		小売業		サービス業	
1位	需要の停滞	29.0%	民間需要の停滞	28.1%	需要の停滞	16.7%	需要の停滞	19.0%
2位	製品(加工)単価の低下・上昇難	19.4%	官公需要の停滞	18.8%	購買力の他地域への流出	12.8%	利用者ニーズの変化への対応	14.3%
3位	原材料価格の上昇	16.1%	請負単価の低下・上昇難	12.5%	大型店・中型店の進出による競争の激化	11.5%	新規参入業者の増加	12.7%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。